■製品の特長

※この時計は、本体内部のスピーカー部に特殊な製法により作られた高分子フィルムをセットしてあり、水洗・雨程度は、通さないように配慮してありますが、完全な防水仕様ではありませんので濡れた場合には、やわらかい布等でのすみやかな拭き取りをおすすめいたします。

この製品は、音声により時刻を報知する時計です。音声は日本語のみです。
スピーキングボタン（フロントボタン）を押すと、音声で現在時刻、アラーム時刻、クロノグラフの経過時間をお知らせします。
時刻を修正する際も、音声で案内する機能が付いています。

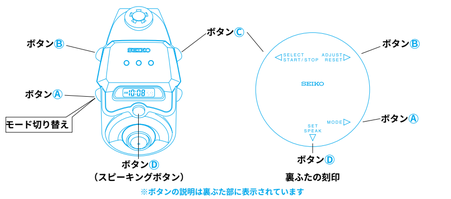
（1）「時刻機能」
・音声で時、分をお知らせします。時計は、時、分、秒を表示します。
・時報（１時間毎）の「あり」、「なし」の切り替えができ音声でお知らせします。

（2）「クロノグラフ機能」
・1/100秒単位（20分経過後１秒単位）で計測および表示します。音声では経過時間、計測時間をお知らせします。
・スタート後10分毎に経過時間を音声でお知らせするオートシグナル機能付です。

（3）「アラーム機能」
・設定した時刻（時、分）で毎日アラーム音で報知するデイリーアラーム機能付です。
・アラーム音は、20秒間鳴ります。
・アラームのon／ーー（セット/解除）の切り替えができ音声でお知らせします。

■ボタンの名称と表示の切り替え

例：時刻表示



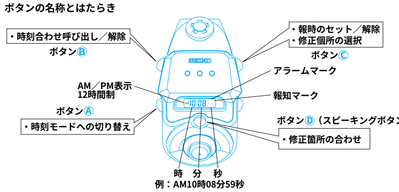
※ボタンの説明は裏ふた部に表示されています

●ボタンⒶを押すごとに、つぎの順序で切り替わります。

※モードを切り替えるごとに音声で「時計です」→「クロノグラフです」→「アラームです」と報知します。

■時刻の合わせ（聴きかた）

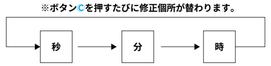
（1）ボタンの名称とはたらき



●ボタンⒶを押して「時刻モード」状態にしてください。
ボタンⒶを押すと音声で「時計です」と報知して「時刻モード」になります。

（2）時刻の合わせかた
①ボタンⒷを２～３秒間押し続けると音声で、「秒合わせ」と報知し、「秒」が点滅して「時刻合わせ」状態になります。
②ボタンⒸを１回押すごとに音声報知で「秒合わせ」→「分合わせ」→「時合わせ」の順序で合わせたいところ（点滅部）を選ぶことができます。

※ボタンⒸを押すたびに修正個所が替わります。



（秒合わせ）
・ボタンⒸを押して「秒合わせと音声報知の状態にし（「秒」点滅状態」）時報と同時にボタンⒹを押すと、音声で「0秒」と報知し「00秒」に合います。
※秒表示が30～59秒のとき、ボタンⒹを押すと１分繰り上がって「00」に合います。
※時刻合わせは電話の時報サービス（TEL.117）が便利です。

（分合わせ）
・ボタンⒸを押して「分合わせ」と音声報知の状態(「分」点滅状態)にします。
・ボタンⒹを１回押すごとに音声で「分時刻」を報知しますので合わせたい時刻に「分」を合わせてください。
※ボタンⒹを押し続けると10分単位で早送りできます。

（時合わせ）
・ボタンⒸを押して「時合わせ」と音声報知の状態(「時」点滅状態)にします。
・ボタンⒹを１回押すごとに音声で「時刻」を報知しますので合わせたい時刻に「時」を合わせてください。
「時刻合わせ」が終わりましたら、ボタンⒷを１回押して「時刻モード」に戻してください。
設定した時刻を音声で「午前／午後＊＊時＊＊分です」と報知します。
ボタンⒷを押し忘れた場合でも２～３分後には「時刻モード」へ自動的に戻ります。

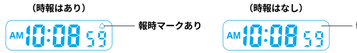
※時刻修正の途中で「全点灯表示」になることがありますが、故障ではありません。ボタンⒸとボタンⒹが同時に押された状態です。その場合は、Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ いずれか１つのボタンを押すと、「時刻モード」に戻ります。次に、あらためて、上記の①から合わせ直してください。Ⓐ

＝全点灯表示＝

（3）時刻の聴きかた
・「時刻モード」で、ボタンⒹを押すと現在時刻を音声で「午前／午後＊＊時＊＊分です」と報知します。

（4）アラーム音の試し聴き（サウンドデモンストレーション）と報時のセットと解除
・「時刻モード」でボタンⒸを押すごとに、報時のセットと解除ができます。
ボタンⒸを押すごとに、音声で「時報はあり」（報時マーク点灯）「時報はなし」（報時マーク消灯）と報知します。
・「時報はあり」（報時マーク点灯）にした状態では、毎正時に音声で「午前／午後＊＊時です」と報知します。
・「時報はなし」（報時マーク消灯）にした状態では、毎正時の音声報知はありません。
・ボタンⒸとⒹを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」ができます。

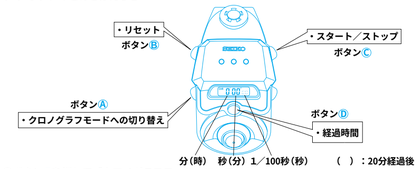
（時報はあり）　（時報はなし）



■クロノグラフの使いかた

・１／100秒単位（20分経過後１秒単位）で計測します。
・最大計測時間は９時間59分59秒です。
・計測時間が10時間を超えた場合は、自動的にリセット状態になります。
・音声は、１秒単位まで報知します。

（1）ボタンの名称とはたらき



●ボタンⒶを押して「クロノグラフモード」にしてください。
ボタンⒶを押すと音声で「クロノグラフです」と報知して「クロノグラフモード」になります。
・スタートは、ボタンⒸを１回押すと「ピッ」と鳴りスタートします。
・ストップは、ボタンⒸを１回押すと「ピッピッ」と鳴り音声で「＊＊秒です」と計測時間を報知します。
・リセットは、ボタンⒷを１回押すと「ピッピッ」と鳴り音声で「0時間0分0秒です」と報知します。

（2）普通の使いかた
例：100メートル競争（ボタンを押す順序：Ⓒ→Ⓒ→Ⓑ）

例：９秒86　（00秒にもどります。）
・音声報知は「９秒です」　・音声報知は「０時間０分０秒です」

（3）時間計測を積算でおこなう場合
例：バスケットボール（ボタンを押し順序：Ⓒ→Ⓒ→…→Ⓒ→Ⓑ）

例：１分50秒45　例：20分00秒00
・音声報知は「１分50秒です」　・音声報知は「20分00秒です」

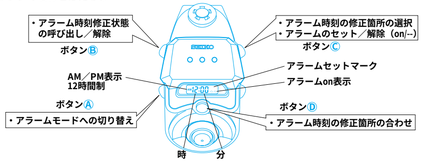
※途中のストップ／再スタートは、何回でもくり返すことができます。
※ストップウオッチのスタート後、ボタンⒹを押すと経過時間を音声で報知します。

（4）オートシグナル機能
・報時マーク点灯時は、スタート後10分毎に経過時間を音声で報知します。
・報時マーク消灯時は、音声での報知はありません。
※報時マークは、「時刻モード」の状態時にセットと解除ができます。

■アラームの使いかた

・アラーム音で知らせるデイリーアラーム付きです。
・アラームのセット（on）／解除（ーー）切り替えができます。

（1）ボタンの名称とはたらき



アラームセット時刻（例：午前12時00分）

デイリーアラーム：毎日、１日１回設定時刻にアラームが鳴る機能

●ボタンⒶを押して「アラームモード」にしてください。
ボタンⒶを押すと音声で「アラームです」と報知して「アラームモード」になります

（2）アラーム時刻の合わせかた
①ボタンⒷを２～３秒間押し続けると音声で「時合わせ」と報知し、「時」が点滅して「アラーム時刻合わせ」状態になります。
②ボタンⒸを１回押すごとに音声報知で「分合わせ」「時合わせ」と交互にお知らせし点滅表示します。
修正する箇所を選択してください。

③合わせたいところを報知（点滅）させたら、ボタンⒹを１回押すごとに音声で「分時刻」または、「時刻」を報知（「分」または「時」点滅）しますので合わせたい時刻に合わせてください。

④「アラーム時刻合わせ」が終わりましたらボタンⒷを１回押して「アラームモード」にもどしてください。設定した時刻を音声で「アラームは、午前６時30分です」と報知します。ボタンⒷを押し忘れた場合でも２～３分後には「アラームモード」へ自動的に戻ります。

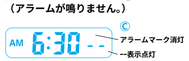
※「分合わせ」の時、ボタンⒹを押し続けると、10分単位で早送りできます。
※アラーム設定時刻を確認する場合は、ボタンⒶを押して音声報知「アラームです」に合わせてください。
次にボタンⒹを押すと音声で「アラームは午前６時30分です」とアラーム設定時刻を報知します。

（3）アラームを鳴らしたいとき、鳴らしたくない場合
※「アラームモード」でボタンⒸを押すごとに音声で「アラームはあり」（アラームセット（on））「アラームはなし」（アラーム解除（--））と報知してアラーム音のセットと解除ができます。

例）●音声報知「アラームはあり」
（アラームが鳴ります。）

アラームセット状態

●音声報知「アラームはなし」
（アラームが鳴りません。）

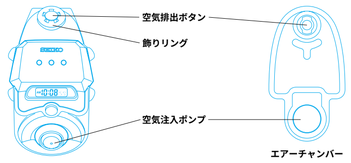


アラーム解除状態

（4）鳴っているアラームを止めるには
※アラームはセットした時刻になると、20秒間鳴り続けます。鳴っているアラームを止めたいときは、ボタンⒶ Ⓑ Ⓒ Ⓓいずれか１つのボタンを押してください。

■エアーチャンバーユニットの使いかた

●各部の名称とはたらき



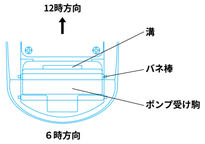
●装着のしかた
・手首に時計を装着したら、６時側の空気注入ポンプを押してお好みに応じて、エアーチャンバーに空気を入れてください。
※エアーチャンバーは空気注入ポンプを約10回押しますといっぱいになります。
５回から10回空気注入ポンプを押したときにお好みのしまり具合になるように、バンドの長さを調整してください。
※空気を入れすぎて手首が締め付けられるようなときには一度空気を抜き、再度空気を入れ直してください。

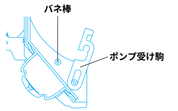
・空気を抜くときには、空気排出ボタンを押してください。

⚠ 注意

●飾りリングとエアーチャンバーの取り外し・取り付けかたについて
・エアーチャンバーのお手入れ、及び交換の際の取り外し・取り付けのときは、必ずエアーを抜いてからおこなってください。

●取り外しかた
（1）時計の裏側にあるポンプ受け駒の溝にコインを入れ12時方向に引き出して、ポンプ受け駒をバネ棒から外します。「（カチッ）と音がする」

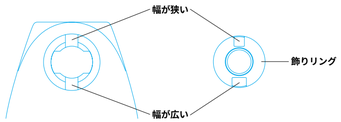




（2）注入ポンプを指で押しながらケース穴を通し、ケースとばね棒の間から注入ポンプを抜きます。

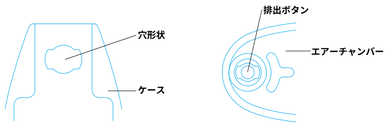
（3）エアーチャンバーを90度回してケース下面方向へ引っぱり、取り外します。飾りリングも同時に取れますから無くさないように注意してください。

●取り付けかた
（1）ケースの12時側に飾りリングをケース上面より図のようにセットします。



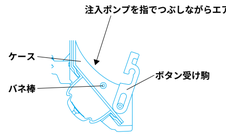
※飾りリング凸部の幅を確認してセットしてください。

（2）飾りリングを指で押さえながらケースを裏側にしエアーチャンバーの排出ボタン位置をケースの穴形状に合わせて組み込み、90度回して飾りリングを固定します。



（3）ボタン受け駒を持ち上げて注入ポンプを指でつぶしながらバネ棒とケースの間を通して注入ポンプをケース穴にセットしてください。

注入ポンプを指でつぶしながらエアーチャンバーをセットします。



（4）最後にポンプ受け駒の溝にコインを入れ、フック部をバネ棒に引っかけて「（カチッ）と音がする」まで６時方向に押し込んでください。

■使用上のご注意とお手入れの方法

⚠ 注意

●取扱注意事項
・水中でポンプの操作をすると空気が注入ポンプから水が入るため、水中でのポンプ作動はしないでください。もしも、水が入ってしまったらポンプ部の水を抜いてください。一度空気を入れ、注入ポンプと空気排出ボタンを下に向けながら、空気排出ボタンを押してエアーを出すと水が少しずつ出ますので、数回繰り返してください。
・使用しないときは、空気を抜いてください。空気が入っておりますと布が伸びて形状が変化します。

⚠ 注意

●防水性能
この時計は、非防水時計です。水（水道の水はね、雨、雪など）や多量の汗にご注意ください。
万一、水や汗でぬれた場合には吸水性のよい布などで、水分をふき取ってください。

⚠ 注意

●日常のお手入れ
・空気注入ポンプは、軟質プラスチックでできているため蛍光灯や太陽光の下に長時間放置されたり、汚れが染み込んだりすることによって、色あせ・変色・あるいは硬くなったり割れたりする場合があります。湿気の多い場所に保管したり、汗や水でぬれたまま放置しておくと、早く変化することがありますので、汚れたときは、石けん水で洗ってください。ただし、化学製品ですので溶剤によっては変質することがあります。
・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
・時計を外したときは、柔らかい布などで汗や水分をふき取るだけで、汚れや、ケース・バンド及びパッキンの寿命が違ってきます。

〈革バンド〉
・革バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽くふいてください。こするようにふくと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

〈金属バンド〉
・金属バンドは、ときどき柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。

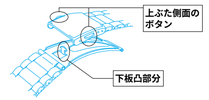
〈軟質プラスチックバンド〉
・ウレタンバンド等軟質プラスチックでできているバンドは、特に手入れの必要はありませんが、汚れがひどいときには石鹸水で洗ってください。化学製品ですので溶剤によって変質することがあります。通常数年のご使用で材質が硬化してきたり、色があせたりする場合がありますので、その際は新しいバンドに交換してください。

⚠ 注意

●かぶれやアレルギーについて
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
・かぶれの原因として考えられますのは、
1.金属・皮革に対するアレルギー
2.時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
・万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

バンド中留め上ぶたの側面にあるボタンを押すことにより、簡単、確実に着脱ができますが、下板にある凸部分を指で強く押さえるとケガをする場合がありますのでご注意ください。



●その他、携帯上ご注意いただきたいこと
・バンドの着脱の際に中留めなどで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますので、ご注意ください。
・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合もありますので、十分にご注意ください。

●保管について
・「－10℃～＋60℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。
・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
・強い振動のあるところに放置しないでください。
・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。
（薬品の例　：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含有するものーガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など－水銀、ヨウ素系消毒液など）
・温泉や、防虫剤の入った引き出しなど特殊な環境に放置しないでください。

●定期点検について
・ながくご愛用いただくために、2～3年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・漏液の有無・汗や水や水分の侵入などの点検をお買い上げ店にご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。
・部品（電池）交換の時は、「セイコー純正部品（電池）」とご指定ください。電池が切れたまま長時間放置しますと漏液などで故障の原因になりますので早めに交換をご依頼ください。
・定期点検の際にはパッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

■液晶パネルについて

この時計の〈液晶パネル〉は、７年をすぎますと、コントラストが低下したり数字が読みにくくなることがあります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。有料にて申し受けます。

■電池についてのお願いとご注意

⚠ 警告

１．お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
２．もしやむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はただちに幼児の手が届かないところに保管してください。
３．万一飲み込んだ場合は、身体に害があるためただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

１．破裂、発熱、発火、などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
２．この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
３．「常温（５℃～35℃）からはずれた温度」下で長時間放置すると電池が漏液したり、電池寿命が短くなったりすることがあります。

１．電池寿命切れ予告機能
この時計には、電池の交換時期を知らせる電池寿命切れ予告機能が付いています。
※「時刻・カレンダー表示」のときに全ての点灯セグメントが点滅になりますと、電池切れが間近であることを知らせています。お早めにお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。

２．電池について
（1）電池寿命
この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約２年間作動します。
ただし、電池寿命は、アラームを１日１回以内、音声報音１日10回以内を基準にしていますので、それ以上使用した場合は上記の期間に満たないうちに電池容量が切れることがあります。
（2）最初の電池
お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。
お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。
（3）電池交換
①電池交換は、必ずお買い上げ店で「セイコー専用電池」とご指定の上、ご用命ください。
②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
③電池交換は、保証期間内でも有料になります。